

クラークを配置し、成果をあげてきました。それらの業務のほとんどが、本来医師が行う業務のサポートと捉えても遜色がない内容であり、『医師事務作業補助体制加算』として評価される以前から実績を積み上げてきました。

2010年7月よりナースクラークは、OJT (On the Job Training) を含め32時間以上かけて医師法・医療法・薬事法・健康保険法などを学び、医師事務作業補助業務を担う職種としての医師事務作業補助者 (=Medical Assistant、以下「MA」という) となり、医師の指示・確認のもとに具体的に支援業務を開始しました。

そして、試行錯誤しながらも現場での経験と勉強を積み重ねて少しずつ実績をあげてきました。それらが軌道に乗ったところで、さらなる業務拡大をめざして、2012年4月、看護部より独立したナースクラークとMAとが在籍する新たなMA部を設立しました。2014年7月現在、ナースクラーク16名、MA21名が主に病棟・外来に配置され合計37名在籍しています。

■具体的な医師事務作業補助業務内容は

具体的な内容としては、大きく分けると4つの業務があります。

- ①診断書や主治医意見書等各種の医療文書、クリティカルパスに則った患者さんの治療や経過をまとめた退院サマリー、入院時初期計画書や退院療養計画書、他の医師に患者さんを紹介する場合の診療情報提供書などの医療文書の作成を、医師の指示・確認の下に代行します。
- ②診療記録への代行入力については、新たに入職した医師や他の病院からの医師対象の電子カルテ操作のサポートといった形で支援しています。
- ③カンファレンスや後進の医師の教育・臨床研修のための準備作業、愛知県がん診療拠点病院として院内がん登録、

NCD (National Clinical Database) が行う外科手術症例のデータベースへの登録など医療の質の向上に役立てる事務作業を行います。

④消費者庁の行う医療機関ネットワーク事業(消費商品による事故)の事例登録などの行政への対応などを行います。

これらは主にMAが担います。

■病棟や外来でのMA部の具体的な業務内容は

病棟では、入院患者さんへのオリエンテーション、電話や患者さんへの対応等の窓口業務、各種検査準備や説明用紙の作成、カルテ記載の確認などを支援しています。外来では、診療介助として患者さんや電話対応、初診患者さんの聞き取り(問診)、検査の説明、ワクチンの接種登録、カルテ記載の確認などを支援しています。その他、手術室や麻酔科の事務作業、検査同意書の説明や取得、検査の予約代行、がん地域連携パス使用患者さんのサポートなど幅広い業務を行っています。

■名古屋記念病院のMA部の特徴と成果は

第一には部門を限定しない幅広い支援・サポート業務を、ナースクラークとMAが一体になって行い、病院の機能向上に

貢献できるようになっていることです。また、長年にわたってナースクラークで培い積み上げたしくみと実績を活かして、院内で広く認知された部として独立していることです。医師の先生がたとえコミュニケーションがよくとれ、新たなMAの導入がスムーズに進むことが期待でき、医師からは「より専門性を高めて業務の幅を広げてほしい」と言われ、信頼されていると感じています。また、文書作成件数だけを見ても最近の3ヵ月では月平均約380件にもなり、途上ではありますが玄関ロビーの文書受付担当者からは「文書の出来上がりが早くなったので、患者さんへのお渡しも早くなり助かっている」との声もきかれました。

■MA部のこれからとアピールは

わたくしたちMA部では、まだまだ学び覚え改善しなければならぬことがたくさんあると感じていますが、知識と経験を積み上げるとともにしくみを造りあげ、医師・看護師などそれぞれの職種の方々から専門職として力を発揮していただけるように縁の下での力持ちとして支援に励んでいきたいと考えています。病院の皆さんに広く役にたつMA部・MA部職員として、患者さんやご家族にも認めていただけるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

